



ゼオンの海外拠点 –ゼオン ケミカルズ アジア社編–



ゼオン ケミカルズ アジア (ZCA) 社は2018年にタイにて設立されたゼオングループの中でも新しい会社です。ZCA社の工場があるラヨン県は、首都バンコクから車で約2時間の距離にあるタイ国内有数の石油化学産業集積地で、ZCA社の他にもゼオン アドバンスド ポリミクス社やゼオン ケミカルズ タイランド社といったゼオングループ関連企業があります。

ZCA社が製造するアクリルゴムは自動車の重要保安部品であるエンジン周りのガスケットやシール、オイルホースなどの主要材料として使用されており、特殊ゴムに強みを持つゼオングループにとって重要な戦略製品です。日本の川崎・倉敷、アメリカに続く

4番目のアクリルゴム製造工場を擁するZCA社には、成長するアジア市場への供給拠点として、地理的優位性を活かした大きな役割が期待されています。

この2021年8月からは商業生産がスタートしました。工場立上げにあたっては日本からのメンバーとタイ人メンバーが総力を結集して困難を乗り越え、立上げ達成時にはともに喜びを分かち合いました。「ともに築き、ともに育つ」を合言葉に常に笑顔で未来を見据え、お客様に喜んでいただける製品を生み出す工場としてゼオングループの成長に貢献するとともに、ステークホルダーのみなさまにもご満足いただける会社を目指してまいります。

日本ゼオン株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2 (新丸の内センタービル)
〒100-8246 電話03 (3216) 1772



ZEON

株主のみなさまへ

第97期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



日本ゼオン株式会社

証券コード 4205

2030年のビジョン、「社会の期待と社員の意欲に応える会社」を実現するための重要な基盤となる取り組みを推進し、持続可能な地球と安心して快適な人々の暮らしに貢献してまいります。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第97期中間期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の報告書をお届けいたします。株主のみなさまには引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

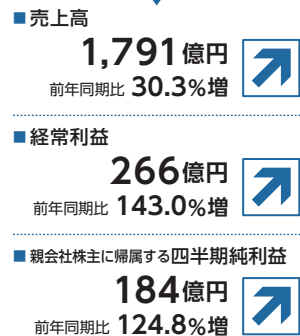


取締役社長 田中公章

Q 2021年9月中間期の経営環境と連結業績をどのように評価していますか。

A 厳しい事業環境が続くなか、収益力強化の取り組みが奏功し、中間期としては売上高、利益ともに過去最高を達成しました。

中間連結財務ハイライト



2021年9月中間期の経営環境は、ワクチン接種率の向上を背景に世界的に景況感が改善しつつあるものの、変異株による感染再拡大や半導体不足の深刻化、緊張状態が続く米中関係など懸念材料も多く、先行き不透明な状況で推移しました。こうしたなか、ゼオングループは2021年4月に始動した中期経営計画のもと、徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業の基盤強化と高機能材料事業の新製品開発に注力しました。

この結果、当中間期の連結経営成績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益いずれも前年同期を大幅に上回りました。中間配当金は2円増配の1株当たり13円とさせていただきます。

事業セグメント別の状況を概観しますと、エラストマー素材事業は、自動車向け合成ゴムの需要が引き続き堅調であったことなどから前年同期比で増収増益となりました。高機能材料事業は、光学樹脂、光学フィルムなどの高機能樹脂が堅調に推移したことに加え、高機能ケミカル関連が売上高を伸ばしたことにより、セグメント全体では前年同期比で増収増益となっています。

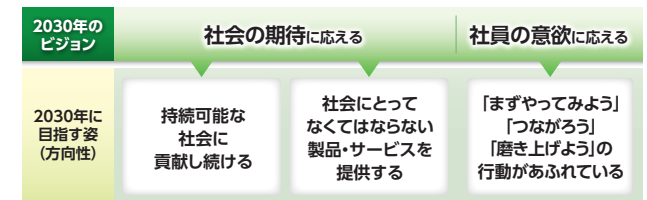
Q 「2030年のビジョン」実現のための全社戦略として、中期経営計画では「既存事業を『磨き上げる』」を掲げられました。その取り組みについてご説明ください。

A 高機能樹脂と電池材料の強化、既存SBUの勝ち残りをかけた取り組みを通じて、2030年のROIC9.0%の目標達成を目指してまいります。

ゼオングループは先般、2030年のビジョンを「社会の期待と社員の意欲に応える会社」と定め、併せてビジョン実現の基盤づくりとなる中期経営計画をスタートさせました。既存事業の『磨き上げ』と新規事業の『探索』はその全社戦略の中核であり、社会にとってなくてはならない製品・サービスを提供し続ける会社を目指します。このうち既存事業の『磨き上げ』については、高機能樹脂と電池材料のさらなる強化と既存SBU(戦略的事業単位)の勝ち残りを通じて、現有事業の競争力を高めていく方針です。

高機能樹脂(シクロオレフィンポリマー)では、タイムリーな能力増強投資を継続するとともに、レジリエンスの強化を見据えた新たな生産拠点の創設を検討します。2021年7月には水島工場の生産能力増強工事が完了し、年間生産量が37,000トンから41,600トンに拡大しました。電池材料については、リチウムイオン電池の長寿命化、高生産性等を実現する新製品群を市場投入することで持続可能な社会の構築に貢献していきます。既存SBUの勝ち残り戦略に関しては、合成ゴムにおける特殊ゴム市場シェアの継続拡大やEV化に伴う新需要の取り込みと新製品の開発、生産の効率化と生産品目の最適化などに注力する考えです。

これら多彩な取り組みを通じて、2030年度の既存事業ROIC(投下資本利益率)9.0%の達成を目指してまいります。



Q 同じく全社戦略である「新規事業を『探索する』」について、具体的な取り組みの進捗はいかがでしょうか。

A 高熱伝導放熱材料(TIM)の商業生産を開始しました。オープンイノベーションに向けた活動も本格化し、重点分野4領域にさらに注力していきます。

新規事業の『探索』については、情報通信・省エネルギーの重点分野として、高熱伝導放熱材料(TIM)の商業生産を開始致しました。半導体業界におけるデバイスの小型化、高速化の進展に伴う熱マネジメント課題解決への貢献が期待されています。

また、オープンイノベーション活動の推進として、東大IPCが主催するスタートアッププログラム「1st Round」にパートナー企業として参加し、チームやベンチャーへの支援を行っております。オープンイノベーション活動による技術の相乗的な革新も取り込みながら、重点分野4領域(CASE・MaaS、医療・ライフサイエンス、情報通信(5G/6G)、省エネルギー)での既存事業・新規事業における方策をさらに加速させ、2030年度での新規事業売上高プラス600億円(2019年度比)の達成につなげていきたいと考えます。

カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを 実現する「ものづくり」への転換

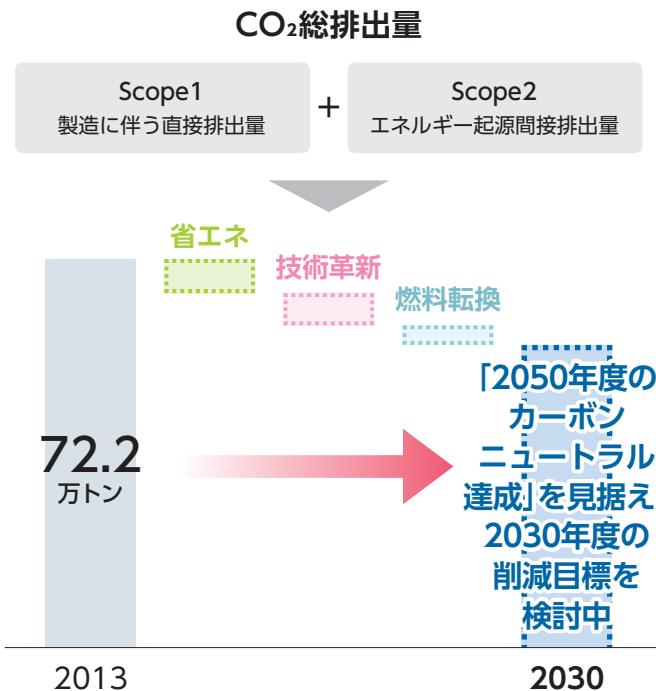
本年度よりスタートした中期経営計画において、ゼオンはその全社戦略の一番目として「カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する『ものづくり』への転換を推進する」を掲げました。持続可能な社会の実現への足掛かりとなるこの2年間では、2050年を見据えたカーボンニュートラルマスタープランを策定するとともに、Scope1と2のCO₂削減について省エネや技術革新、燃料転換等を着実に進めます。また、長期的な「ものづくり」転換に必要な研究開発にも粘り強く、意欲的に取り組んでまいります。

貢献するSDGs

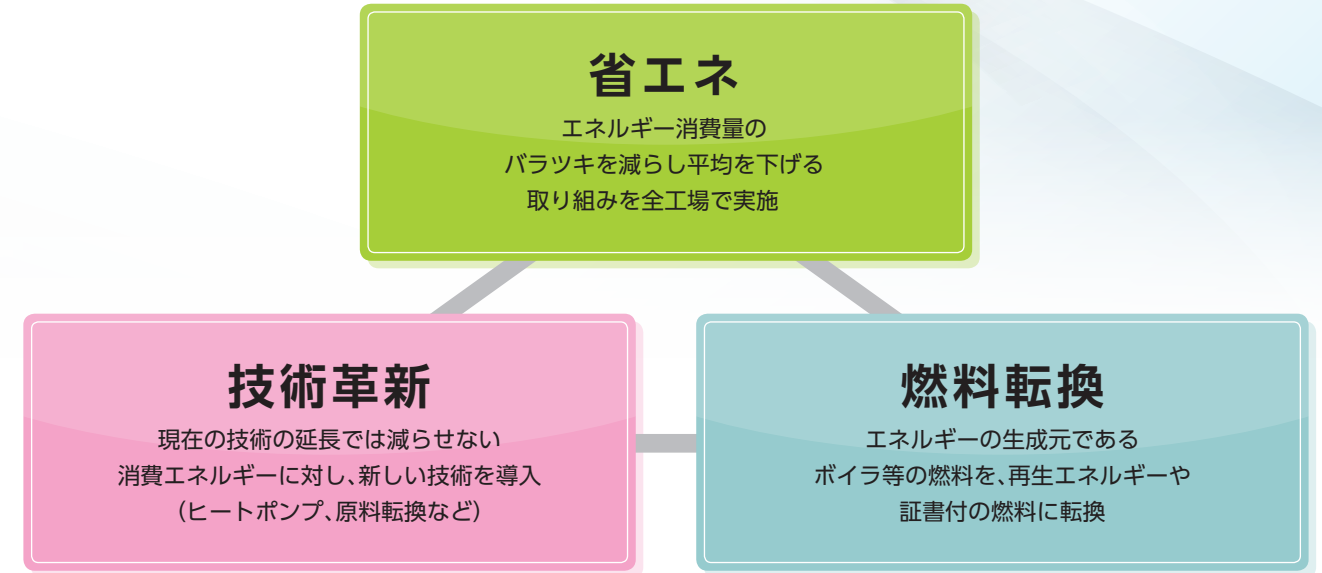


要となる方策 2050年を見据えたカーボンニュートラルマスタープラン策定

長期的な「ものづくり」転換に必要な研究開発・技術革新を粘り強く実施



「ものづくり」転換のための3大施策



取り組み事例

バイオマスからブタジエンを生成する新技術を共同開発

国立研究開発法人理化学研究所、横浜ゴム株式会社と共同で設置している「バイオモノマー生産研究チーム」の研究により、バイオマス(生物資源)から効率的にブタジエンを生成できる世界初の新技術を開発しました。ブタジエンは主に、自動車タイヤなどの原料として使われる合成ゴムの主原料として使用されています。現在、ブタジエンはナフサ熱分解の副生成物として工業的に生産していますが、バイオマス由来ブタジエン生成技術を確立することにより、石油依存度の低減に繋がるため、CO₂の削減に貢献することができます。



新技術で重合されたブタジエンゴム

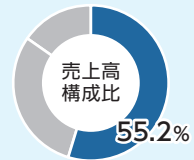
売上高

売上高の推移

概要

会社基盤を支える事業

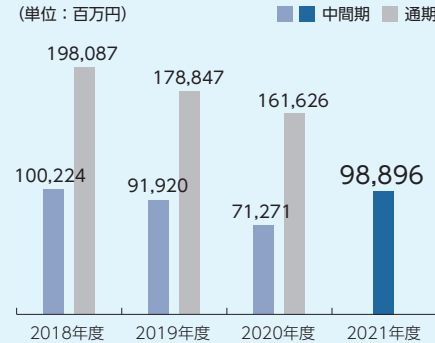
エラストマー素材
事業部門



- 合成ゴム
- 合成ラテックス
- 化成品

988億96百万円

38.8%
(前年同期比)



合成ゴム

自動車減産の状況下でも需要は依然として堅調であり、国内・輸出・海外子会社とも販売が好調に推移した結果、売上高、営業利益ともに新型コロナウイルス感染拡大により世界経済が急減速した前年同期を大幅に上回りました。

合成ラテックス

新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした医療・衛生用手袋向けの需要拡大継続や樹脂改質用途が堅調に推移したことなどにより、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化成品

欧米の粘着テープやアジアのトラフィックペイントとも需要は旺盛でしたが、水島工場およびタイ子会社の定期検査による出荷調整もあり、販売数量は前年同期を下回りました。一方で、需給逼迫とナフサ上昇による値上げにより売上高、営業利益は前年同期を上回りました。

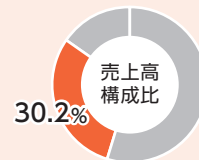
- 当事業部門全体の売上高は988億96百万円(前年同期比38.8%増)、営業利益は108億42百万円(同1207.8%増)となりました。



製品用途例

新規展開を中心とする事業

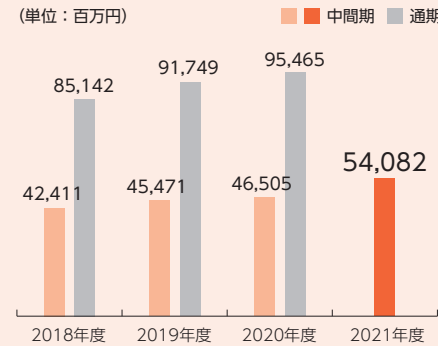
高機能材料事業部門



- 高機能樹脂
- 高機能ケミカル
- 医療器材

540億82百万円

16.3%
(前年同期比)



高機能樹脂

光学樹脂、光学フィルムとも販売が堅調に推移しました。この結果、高機能樹脂関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

高機能ケミカル

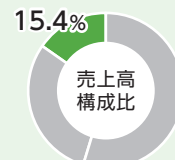
トナー、電池、化学品、電子材料の全てにおいて売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。この結果、高機能ケミカル関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

- 当事業部門全体の売上高は540億82百万円(前年同期比16.3%増)、営業利益は140億19百万円(同43.8%増)となりました。



製品用途例

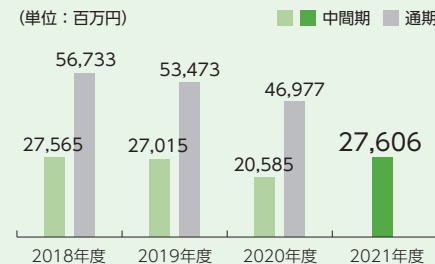
その他の事業部門



- RIM 配合液・成形品
- 塗料ほか

276億6百万円

34.1%
(前年同期比)

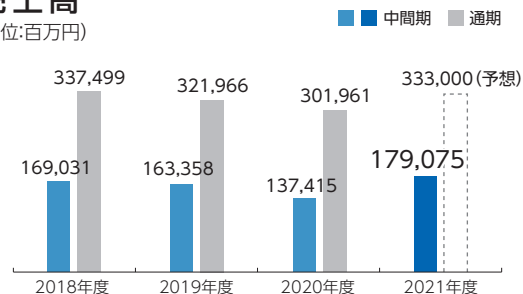


- 子会社の商事部門等の売上高が前年同期を上回りました。この結果、全体売上高は276億6百万円(前年同期比34.1%増)、営業利益は12億96百万円(同182.4%増)となりました。



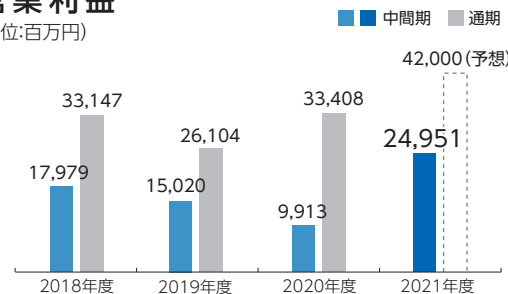
売上高

(単位:百万円)



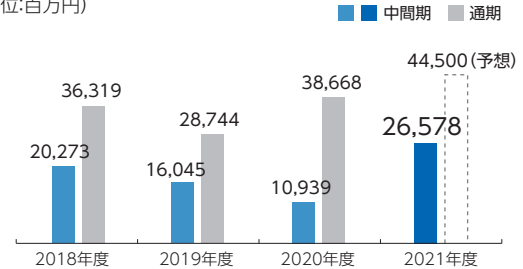
営業利益

(単位:百万円)



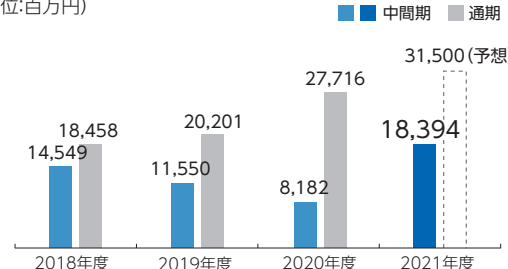
経常利益

(単位:百万円)



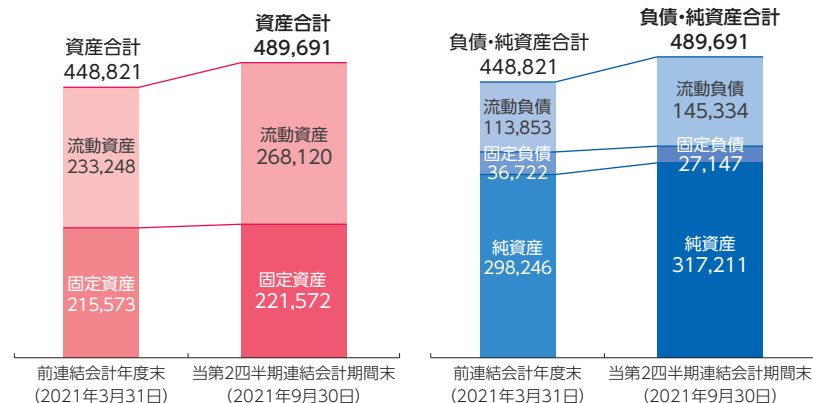
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



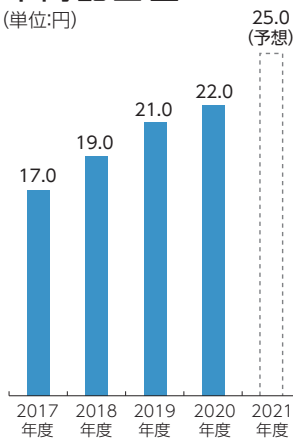
連結貸借対照表

(単位:百万円)



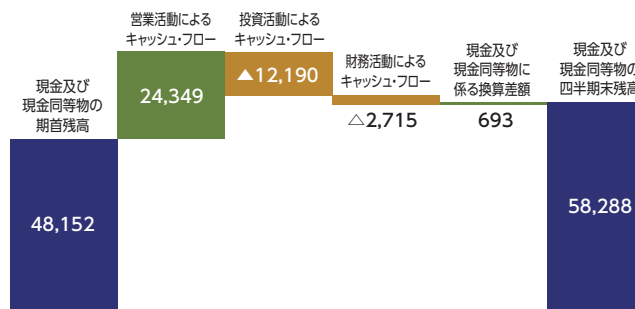
年間配当金

(単位:円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間 2021年4月1日～2021年9月30日



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
基準日	毎年3月31日 (その他臨時に必要があるときは、あらかじめ公告します。)
公告方法	電子公告 https://www.zeon.co.jp/ (ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。)
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8507) 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

「健康経営宣言」ならびに「Well-beingのための行動指針」を制定

中期経営計画のビジョンである「社会の期待と社員の意欲に応える会社」は、Well-being (心身も社会的にも良好で満足した生活を送る) と Freedom (より多くの選択肢) 実現の上に創り上げられます。

ゼオンは健康経営を、Well-beingとFreedomを全ての従業員に実現するための重要な経営戦略と位置づけ、心身の健康保持と増進に加え、公私ともに良好な日常生活を自ら整えるための選択肢を提供していきます。そのコミットメントとして本年10月1日付で「健康経営宣言」を发出し、併せて「Well-beingのための行動指針」を制定しました。

人事掌管役員の責任者のもと、各事業所の人事担当部署、健康保険組合、労働組合、健康管理室等と連携して健康経営に関する施策を進めるとともに、推進体制のさらなる強化を図ってまいります。

健康経営宣言

「大地の永遠と人類の繁栄に貢献する」という当社の企業理念(使命)は、ゼオングループで働くひとり一人が能力を發揮し、いきいきと活躍し続けることによって体现されます。

当社は、「持続可能な地球」と「安心で快適な人々のくらしの実現」に貢献し続けるために、社員が家族や仲間とともに、心身ともに健やかで、幸せな気持ちでやりがいのある仕事に取り組むことができる環境を整備していきます。

■ 会社の概要 (2021年9月30日現在)

商号 日本ゼオン株式会社
(ZEON CORPORATION)
設立 1950年4月12日
資本金 242億1千1百万円
本社 〒100-8246
東京都千代田区丸の内1-6-2
新丸の内センタービル
電話 03(3216)1772
従業員 3,608名(連結)

■ 役員 (2021年9月30日現在)

取締役社長	田中 公章	常務執行役員	豊嶋 哲也
取締役	平川 宏之(☆)	常務執行役員	曾根 芳之
取締役	松浦 一慶(*)	執行役員	渡辺 えりさ
取締役	北畑 隆生	執行役員	小瀬 智之
取締役	南雲 忠信	執行役員	渡辺 誠
取締役	池野 文昭	執行役員	川中 孝文
常勤監査役	古谷 岳夫	執行役員	江口 勉
常勤監査役	林 佐知夫	執行役員	富永 哲
監査役	郡 昭夫	執行役員	大井 喜信
監査役	西島 信竹	執行役員	小西 裕一郎
監査役	木村 博紀	執行役員	山本 寛
		執行役員	中島 和雄

(☆) の取締役は常務執行役員を兼務しております。
(*) の取締役は執行役員を兼務しております。

■ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

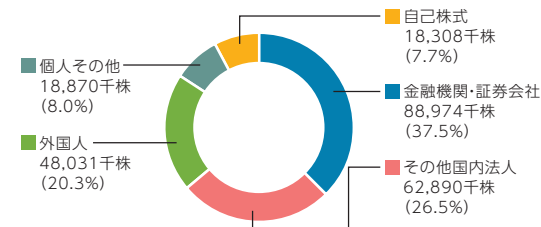
発行可能株式総数 800,000,000株
発行済株式の総数 237,075,556株
株主数 9,978名(前年度末比1,269名増)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	23,761	10.86
横浜ゴム株式会社	22,682	10.37
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	12,180	5.57
株式会社みずほ銀行	9,600	4.39
朝日生命保険相互会社	7,679	3.51
旭化成株式会社	6,438	2.94
全国共済農業協同組合連合会	4,765	2.18
農林中央金庫	4,000	1.83
日本ゼオン取引先持株会	3,802	1.74
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,544	1.62

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.当社は自己株式18,308千株を保有しておりますが、上記の表には記載して
おりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



■ ゼオングループの主要拠点



日本国内拠点

- 日本ゼオン株式会社
 - 本社
 - 総合開発センター
 - 高岡工場
 - 川崎工場
- 株式会社オプテス
- ゼオンエフアンドビー株式会社
- ゼオンオプトバイオラボ株式会社
- ゼオン化成株式会社
- ゼオンケミカルズ米沢株式会社
- ゼオンナノテクノロジー株式会社
- ゼオンノース株式会社
- ゼオンポリミクス株式会社
- ゼオンメディカル株式会社
- ゼオン山口株式会社
- 東京材料株式会社
- 株式会社トウベ
- RIMTEC株式会社
- ZSエラストマー株式会社
- 岡山ブタジエン株式会社
- ジスイنفオテクノ株式会社

グローバル拠点

アジア・オセアニア

- 瑞翁(上海)管理有限公司
- 瑞翁貿易(上海)有限公司
 - 瑞翁貿易(上海)深圳分公司
- 瑞翁化工(上海)有限公司
- 瑞翁化工(広州)有限公司
- 瑞翁(広州)医療器械有限公司
- 瑞翁化成塑料(常熟)有限公司
- 泉瑞股份有限公司
- 台湾瑞翁股份有限公司
- Zeon Korea Co., Ltd.
- 済新株式会社
- Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd.
- Zeon Asia Pte. Ltd.
 - Asia Technical Support Laboratory
- Zeon Asia Malaysia Sdn. Bhd.
- Zeon Chemicals (Thailand) Co., Ltd.
- Zeon Advanced Polymix Co., Ltd.
- Zeon Chemicals Asia Co., Ltd.
- Zeon Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
- Zeon Research Vietnam Co., Ltd.
- Zeon India Private Limited

欧州

- Zeon Europe GmbH
 - Zeon Europe GmbH - Branch in France
 - Zeon Europe GmbH - Branch in Spain
 - Zeon Europe GmbH - Branch in Italy
 - Zeon Europe GmbH - Branch in U.K.
- Telene S.A.S.

北米・中南米

- Zeon Chemicals L.P.
 - Zeon Chemicals L.P. R&D Center
 - Zeon Chemicals L.P. Kentucky Plant
 - Zeon Chemicals L.P. Mississippi Plant
 - Zeon Chemicals L.P. Texas Plant
- Zeon Specialty Materials Inc.
- Zeon do Brasil Ltda.
- Zeon Kasei Mexico S.A. de C.V.